

開放特許ライセンス契約締結

瀬戸信用金庫は11日、の大家製作所(本社名古屋)に次いで2件目。今回の富士通の技術交流会を通じて、富士通(本社東京)と木村台紙(本社名古屋)が開放特許ライセンス契約を締結したと発表した。木村台紙は、台紙や写真などに富士通の写

富士通と木村台紙

真・印刷画像のコード埋め込み技術を活用。スマートフォンで読み取って動画や音声再生できる商品を開発し、イベントなどに売り込む方針だ。同交流会での契約締結は、昨年10月のオフィス機器大手のイトーキ(本社大阪府)と金属加工業

瀬戸信金の動画、音声再生商品を開発



締結式で右から水野理事長、西田部長、木村社長

同日、名古屋熱田区開放特許に潜在需要がある同金庫名古屋研修センター。新製公開や新市場の同金庫が、今年中に1〜2件の契約締結を期待した品が発信できる。今回の「い」と話した。(瀬戸)

好機を最大限に生かす」と意欲を見せた。富士通の西田雅俊知的財産イノベーション統括部長は「今後も活用していきな所有特許を開放し、地域の企業に還元する」と強調した。

同金庫の水野和郎理事長は「愛知県は」